

垂水区を中心に36年間活動する西神戸混声合唱団が16日、神戸新聞松方ホール(中央区東川崎町1)での定期演奏会(神戸新聞社後援)で、ミュージカルに初挑

戦する。「オリバー！」と「ウエスト・サイド・ストーリー」をメドレーで披露。団員は「会場全体で楽しむ音楽会にした」と意気込んでいる。(藤村有希子)

創立36年ミュージカル初挑戦

会場全体で楽しもう

西神戸混声合唱団



初のミュージカルに向けて練習する西神戸混声合唱団のメンバーら。西宮市高松町、県立芸術文化センター

16日、松方ホール「オリバー！」など披露

合唱団は1977年3月に結成。現在、垂水区や明石市などに住む19〜80歳前後の50人が活動している。

定期演奏会は2年に1度開き、18度目。ミュージカルは以前から団員の中で「チャレンジしたい」の声があった。踊りの経験がない団員ばかりといい、今年初めに振り付けの練習を始めた。「背筋を伸ばして」「最初からパワー全開で」。武庫川女子大音楽学部の学生から指導を受け、当初はぎこちない動きだった団員も徐々に自信あふれるパフォーマンスに。表情も豊かになってきた。演奏会に先駆け、5月に垂水区の音楽祭で披露。観客の反応がよく、手応えを得た。

ミュージカルを担当する客演指揮の益子務・同学部教授(74)は「団員は努力して暗譜し、ステージに立つことを楽しんで」と話す。団員で指揮者の稲松真人さん(52)も「演者が楽しむことが、客が楽しむことにつながる」と本番を心待ちにしている。

当日はほかに、ミサ曲や組曲も披露する。午後2時開演。千円。全席自由。同合唱

団 ☎078・785・087